



「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター

おまかせください！！

2015. 第 87 号



いつもお読みいただきありがとうございます。三商事(さんしょうじ)の上神谷(かみかべや)です。

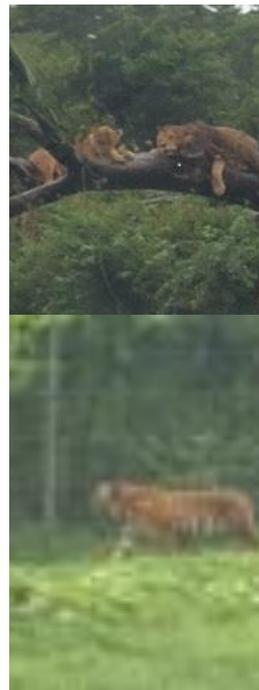
盆休みも終わり、またお仕事再開です。それにしても・・・いつ涼しくなるのでしょうかね？待ち望んでいます・・・。

お盆休み、私たち家族は白樺湖の方へ旅行にに行ってきました。1泊2日の旅でしたが、下の子もあまりぐずらず良かったです。

昨年の夏の旅行は帰りにぐずりにぐずって、ぼくも怒り出してしまい、妻と少レケンカみたいにもなってしまって・・・。今年はそのようなことはなく、無事に帰ってこられました。

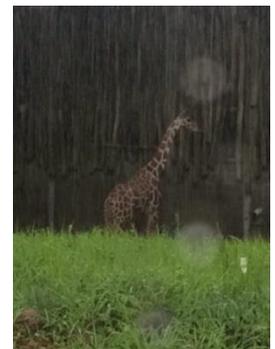
出発の日。府中は雨でありあまり天気はよくなかったです。この日の目的は富士サファリパークでした・・・が、向こうへ着けば雨。しかも土砂降りです。もう駐車場に車を置いて歩いて色々なところを回る・・・

という選択肢はもうありませんでしたね。雨の降りかたが凄いので・・・。けれど、サファリパークは車に乗りながら放し飼いにしている動物たちをみることができたので良かったです。普通の動物園みたいだったらとてもじゃないけれど、見て回れませんでした。



もうライオンもびしょ濡れです・・・。なんか全然やる気ないですね・・・。でも雨が降ってなくてもオスならこんな感じでしょうか？

トラも雨に打たれてズブ濡れ・・・。なんか貧相な感じがす・・・。



ラクダもキリンもなんだかかわいそうで

した。

動物たちは、それぞれ種類でエリア分けされています。ライオンエリア、トラエリア、ゾウエリア、キリンエリア・・・のような感じです。そのエリアの中を車で移動しながら見ていくのです。

雨はだんだんひどくなるばかりで、最後についた駐車場では滝のような雨になっていました。もう、どこにもいけないので富士サファリパークを後に、ホテルへ向かうことになりました。



でも、雨は降っていましたが、子供たちは喜んでくれたようです。特に下の子は、実際に動物を見るのは初めてのことでしたので。

ホテルに向かう途中、雨は止んできたのですが、今度は霧が・・・。真っ白で何も見えない場面もあったのですが、なんとか運転仕切った・・・。疲れました。

この次の日は、池の平ファミリーランドに行ったり、テディベアミュージアムに行ったりとかなり遊べました。お天気も前日とは違ってよくなりましたしね。そんな僕ら家族の夏休みでした。



お世話になっております。

長坂利昭です。

今号もお読み頂きありがとうございます。

お盆休みも終わり、子供たちの夏休みもあと僅か。夏の終わりの近いですね・・・。

わが家の上の娘も小学生最初の夏休みを満喫。宿題もサボらずに毎日やっています。親の指示があってしている状況ですが・・・その親の過去を振り返れば、最終日に泣きながら宿題を終わらせていたことが何度かある訳で・・・わが娘、頑張っています。

■今年も妻の実家へ行ってきました・・・

さて、度々、ニュースレターにも書かせていただいておりますが、私の妻の実家は北海道の室蘭でして、長女が夏休みのこの時季に「帰省」をして参りました。

東京が猛暑日続きだった最中での北海道行きだったので、涼しさを求め意気揚々、北の大地に降り立ったのですが・・・。

私が室蘭にいた間、ほぼ毎日、雨が降っていました。日差しがないので確かに気温は低めなのですが、ただでさえ、室蘭は海に面した土地で、日常的に湿度は高い・・・。

妻の実家は築30数年。家の造りは冬のことを第一に考えられているので、気密性の高い構造であり、開けられる窓も少なく、風通しがあまり良くないのです。エアコンも全室に付けている訳ではありませんしね。

ためしに、持参していった温湿度計を室内に置いてみましたが、気温30℃、湿度70%以上になっている時もありました。思わず「東京と変わらないじゃん！」と声

が出たのは言う間でもありません・・・。

しかし、人の体というのは不思議というか、良く出来ているというか、60～70年そういう環境で生活をしていると、体は順応するらしく・・・義父母は、全く暑くないようなのです。逆に、朝晩は寒いくらいに感じるようで「暖房入れようか？」と聞かれるほど。私も妻も子供たちも、蒸し暑さでじとーっと汗をかいているのに・・・。

そんな訳で、家にいる大半の時間は、唯一エアコンの付いている部屋で、冷房を付けて過ごしていました。東京での日常と大して変わらないなと思ってしまった私です。

■暇を持て余す・・・

大人だけならば「たまには家の中でダラダラと」でも良いのですが、6歳と2歳の子供がいるとさすがにそうはいかず・・・かと言って、東京のように「遊べる」施設は多くないので、行き先は限定され・・・。

今回は、2か所の水族館に行ったので、ちょっとご紹介を。

まずは「市立室蘭水族館」。室蘭港の一端にあり、北海道初の水族館という歴史を持つ「昔ながら」の水族館です。

長女が「小さい方の水族館」と言うように、規模は小さく、魚等の展示数も少ないのですが、ウチの子供達が楽しむには十分。ヒトデやウニなどに触れられるコーナーがあり、娘二人、「きも～い！」と言いながら、捕まえて喜んでいました。



そしてもう一つは長女が「大きい方の水族館」と言った「登別マリパークニクス」。

こちらはJR登別駅近くにあり、遊園地も併設されている水族館です。

デンマークに実在する城を模した建物が水族館になっており、園内にはイルカやアシカのショーを見られる施設もあったり、ペンギン達の「お散歩」が見られたりするイベントもやっています。

水族館では、小さなクリオネから大きなサメまで、両生類や爬虫類の展示もあり、結構楽しめますよ。

館内では、室蘭水族館と同じく、生き物に触れられるコーナーがあり、ヒトデやウニのほかに、エイやカブトガニにも触れるようになっていました。

私もエイに触るのは初めてでしたが、あの「ぷるぷる感」。面白かったですよ。皆さまざま触れる機会があったらお試しを！（ただし、トゲのある部分がありますのでそこだけは触らないようご注意ください。）



写真左下の黒いのがエイです。最初怖がっていた長女も、私が触ったのを見て、恐る恐る水槽に手を入れ、触っていました。

紙面の都合上、各水族館の詳細はホームページ等でご確認ください。また、場所柄、冬期は閉鎖となりますので、春先や秋の終わりに行ってみようかなという際は、開園

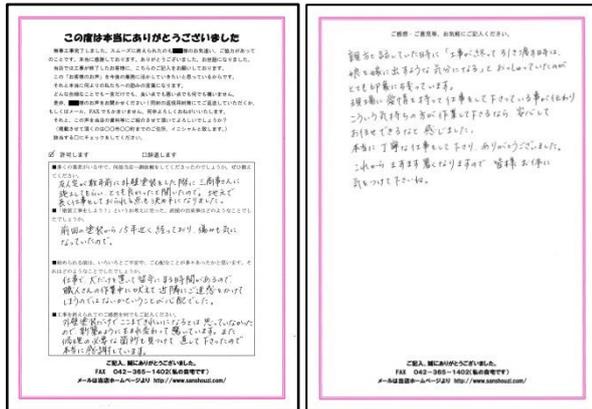
の有無も合わせてご確認ください。

■お客様からのお声

さて、ここからは塗装のお話です。

今号では、当店で工事をしていただいたお客様からの「お声」をご紹介します。

府中市清水が丘のK様より・・・



Q、多くの業者がいる中で、なぜ当店へご依頼をしてくださったのでしょうか？

A、友人宅が数年前に外壁塗装をした際に三商事さんに施工してもらい、とても良かったと聞いたので。地元で長く仕事をしておられる点も決め手になりました。

Q、「塗装工事をしよう！」というお考えに至った、直接の出来事はどのようなことでしたでしょうか？

A、前回の塗装から15年近く経っており、傷みも気になっていたのです。

Q、始められる前は、色々のご不安やご心配があったかと思えます。それはどのようなことでしたでしょうか？

A、仕事で、犬だけを置いて留守にする時間があるので、職人さんの作業中に吠えて、近隣にご迷惑をかけてしまうのではな

いかということが心配でした。

Q、工事を終わられてのご感想は？

A、外壁塗装だけで、ここまできれいになるとは思っていなかったのですが、新築のように生まれ変わって驚いています。また、修理の必要な箇所も見つけて直して下さったので本当に感謝しています。

親方と話していた時に「工事が終わって引き渡す時は、娘を嫁に出すような気分になる」とおっしゃっていたのが、とても印象に残っています。

現場に愛情を持って仕事をして下さっている事が伝わり、こういう気持ちの方が作業して下さるなら、安心してお任せできるなと感じました。

本当に丁寧な仕事をして下さり、ありがとうございました。これからますます暑くなりますので、皆様お体に気をつけて下さいね。

《K様へ》

この度は大変お世話になりました。工事期間中は、何かとご配慮を頂きまして、誠にありがとうございました。K様のお役に立てて、私共も嬉しく思っております。ご縁をいただけたこと、感謝いたします。今後もスタッフ一同、頑張ってお参ります。

発行者 上神谷裕治 (かみかべやゆうじ)

記事 上神谷裕治、長坂利昭

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402

または 090-1504-8833

ホームページ <http://www.sanshouzi.com/>

ブログ <http://sansyouzi.blog73.fc2.com/>

<http://sansyouzi.seesaa.net/>

